

# サウジアラビアにおける 鉄道拡張計画

2013年12月

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）

ジェトロ・ドバイ事務所

進出企業支援・知的財産部 進出企業支援課

#### 本報告書の利用についての注意・免責事項

本報告書は、日本貿易振興機構（ジェトロ）ドバイ事務所がリテイン契約に基づき現地法律コンサルティング事務所 Clyde & Co LLP から提供を受けた情報に基づくものであり、その後の法律改正などによって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは筆者の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。また、本稿はあくまでも参考情報の提供を目的としており、法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。本稿にてご提供する情報に基づいて行為をされる場合には、必ず個別の事案に沿った具体的な法的助言を別途お求めください。

ジェトロおよび Clyde & Co LLP は、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび Clyde & Co LLP がかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

本報告書にかかる問い合わせ先：

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）  
進出企業支援・知的財産部 進出企業支援課  
E-mail：OBA@jetro.go.jp

ジェトロ・ドバイ事務所  
E-mail：info\_dubai@jetro.go.jp

**JETRO**

本報告書作成委託先：

Clyde & Co LLP, Dubai  
Level 15, Rolex Tower,  
Sheikh Zayed Road,  
PO Box 7001, Dubai, UAE  
Tel: +971 4 384 4000  
Fax: +971-4-384-4004  
E-mail：mero@clydeco.ae

كلايد و كو  
**CLYDE & CO**

## サウジ鉄道拡張計画：建設工事の受注進む

サウジアラビア王国は一般・都市鉄道開発を積極的に進めており、世界で最も活況を呈する鉄道市場と言えるでしょう。本稿では、主に最近認可された新規事業や入札の締切りが迫る事業を中心に、サウジアラビアで進められるさまざまな鉄道拡張計画の現状を報告します。

### 南北資源鉄道

南北資源鉄道は、世界最大の鉄道建設事業です。リヤドから（ヨルダンとの国境近く）ハディーサまでを繋ぐ全長1,418キロの基幹路線とその接続路線は、北部リン鉱山地帯のジャラミドから中部ボーキサイト地帯のザビラを通り、東部の港湾工業地帯ラスアズールに続きます。

南北資源鉄道は、経済戦略の要とされ、ほかの事業よりも優先されて進められています。サウジアラビアは、北部のリン鉱石とボーキサイトの採掘事業により、世界最大の鉱物資源輸出国の一つとなることを目指しています。また、同鉄道は、年間200万人の乗客による利用も見込まれます。

南北鉄道の建設工事は現在進行中です。ザビラからラスアルカイルを繋ぐ576キロの路線は、ドイツ2社とSaudi Bin Ladinグループが建設を請け負いました。ザビラ分岐点からネフド砂漠までを結ぶ440キロの路線を含むほかの区画は、中国鉄路総公司（第18地方鉄路局）とAl Suwaiket社により完成しています。ネフド砂漠中央からジャラミドとハジータを結ぶ750キロは、オーストラリアのBarclay Mowlem、日本の三井物産、サウジアラビアのAl Rashed社の3社によるコンソーシアムで建設されました。リヤドとカスィーム間の路線は、2013年第1四半期末までに完成する予定でした。

路線の大部分が完成し、現在、ThalesとSaudi Bin Ladinグループがヨーロッパ鉄道制御システム（ETCS）の設置とテストを行なっています。南北鉄道は、ETCSを設置した最長の路線となるでしょう。中国の中国南車集团公司社が提供する668両の貨車をElectro Motive Diesel社のディーゼル機関車が牽引する予定です。

## ランドブリッジ鉄道

およそ70億ドルが投資されたランドブリッジ鉄道事業は、紅海とペルシア湾を結ぶ初の鉄道となります。この事業には、リヤドとジェッダ間の950キロ、ダンマームとジュベイル間の115キロの新設、リヤドとダンマーム間の既存路線のアップグレードが含まれます。

同プロジェクトは、紅海沿岸地域とサウジアラビアの湾岸地域間の内陸輸送経路を最短にするための計画です。とりわけ、ダンマームのキング・アブドゥル・アジズ港とジェッダ・イスラム港間の貨物輸送を強化するものとなるでしょう。これにより、ヨーロッパおよび北米と東南アジア間における資材と製品の物流の効率化が見込まれます。同鉄道は、当初、官民両セクター間の連携事業としての開発が予定され、2008年4月21日、サウジ企業7社とオーストラリアのAscianoによるTarabotコンソーシアムが50年間の利権付きBOT契約の発注先に選ばれました。しかし、資金面に関する合意が得られず、事業は一時中断されました。

2011年10月、政府は公共投資資金による公共事業として開発を進めることとし、2013年1月、米建設会社Fluor社が、7,200万ドル、7年間のプロジェクトマネジメント契約を締結しました。2013年7月、設計会社としてItalferrが選定され、2014年の第2四半期中に設計が完成する予定です。現在、Agility PWC Logisticsコンソーシアム、Madaコンソーシアム、Saudi Bin Ladinコンソーシアム、Tarabotコンソーシアムの四つのコンソーシアムが建設工事に入札しています。2014年の第2四半期に、工事の発注先が決定される予定です。

## ハラメイン高速鉄道

サウジアラビアで最も開発の進んでいる鉄道事業は、聖地メッカとマディーナ間を結ぶハラメイン高速鉄道（二聖地間高速鉄道）プロジェクトで、Scott Wilsonグループがプロジェクト管理を行なっています。土木工事は、(Madaグループ、Bouygues、Al Arrab Contracting、Arup、中国鉄路工程総公司以構成される) Al Rajhi Allianceにより完了しており、現在、4駅の建設、エンジニアリング、車両の準備が進められています。土木設計はFoster & PartnersおよびBuro Happoldが担当し、SiemensがETCS設備を提供します。マディーナ駅とメッカ駅はSaudi Bin Ladinグループが建設し、ジェッダ駅とアブドゥッラー国王経済都市駅はSaudi Ogerが建設中です。車両は (Al Shoula、Al Rosan、ADIF、Cobra、Consultants、Copasa、Dimetric、Imathia、Inabesa、Indra、

Ineco、OHL、RENFE、Talgoで構成される) Al Shoula コンソーシアムが提供し、完成後12年間の運営およびメンテナンスは、IndraとAl Shoulaのスペイン・サウジコンソーシアムが行ないます。

## サウジーバーレーン鉄道

2013年7月サウジ政府およびバーレーン政府は、既存のキング・ファハド・コーズウェイと並行してサウジ鉄道網とバーレーンを繋ぐ鉄道建設の事業化可能性を5社が検討中である旨が、発表されました。費用はおよそ100億ドルと見積もられ、2018年の完成を目指しています。サウジ鉄道網は新設路線を経由してカタールに繋がり、GCC鉄道計画の一環としてUAEにも接続されることが構想されています。

## リヤド都市鉄道

総額230億ドルに上るリヤド都市鉄道計画は、6路線（赤、青、オレンジ、黄、緑、紫）、全長176キロの線路、85駅（5つの接続駅、Zaha Hadadによる新金融地区駅など斬新なデザインの4駅を含む）、25の公園や遊園地、接続バス路線、6カ所の保守施設の建設、開発などを含む大規模なプロジェクトです。都市鉄道の運行により、当初は1日140万人の乗客が見込まれ、その後360万人まで増加すると想定されています。

これら路線の建設主体として以下の3つのコンソーシアムが選ばれました。

- BACS - Bechtel、Vinci、Siemens、AECOM、CCC、Almabani General Contractors - 第1路線（青、68億1100万ドル）と第2路線（赤、30億ドル）を受注。
- Ar-riyadh New Mobility - Ansaldo STS、Bombardier、Impreglio、Nesma、Hyder、Worley Parsons、IDOM、Larson、Toubro - 第3路線（オレンジ、59億3100万ドル）を受注。
- Fast Riyadh Metro Alliance - FCC、Alstom、Samsung、Freysinet、Strukton、Setec、Tyspa - 第4路線（黄、30億6000万ドル）、第5路線（緑、26億6200万ドル）、第6路線（紫、21億6700万ドル）を受注。

また、6路線のプロジェクト管理事業者も任命されました。Parsons、Elgin、Systraが第1～第3路線を、Louis BergerとHill Internationalが第4～第6路線を担当します。

## メッカ・マス輸送スキーム

メッカ・マス輸送スキームは、Mecca Mass Rail Transit社によって運営されます。最初の路線は、中国鉄道建設総会社とその下請業者によって建設され、2010年に開通しましたが、中国鉄建は発注仕様の変更が相次ぎ、赤字を抱えたもようです。さらに4路線の建設が予定されており、2013年夏、Parsons Brinckerhoffがプロジェクト管理コンサルタントに任命されました。当初計画では88駅と180キロを超える線路の建設が予定されています。2013年5月上旬、Jordan Arab Centre for Engineering Studies (ACES) がC路線の土木工事を受注しました。2013年12月、各路線の設計契約に対する入札案内が始まりました。建設工事は2015年に開始し、2023年の完了を目指しています。

## ジェッダ都市鉄道

ジェッダ都市鉄道計画は、都市を縦断する全長180キロの3路線を建設するものです。2013年3月、ジェッダ市とジェッダ都市開発公社のジョイントベンチャーとしてJeddah Metro Companyが設立され、事業が開始されました。同社は、地下鉄が市内の地上鉄道やバスなどほかの輸送手段と完全に融合するようほかの企業との協力体制を築くことを目指しています。オレンジ（67キロ、22駅）、青（24キロ、17駅）、緑（17キロ、7駅）の3路線の建設が予定されています。フランスのEgis社が、関連当局と初期の設計に取り組んでいます。

コンサルタント各社は、設計および建設、準備段階のマネージメント、プロジェクトマネージメントの三つのパッケージへの入札に必要な、事前資格審査基準の証明書を準備しています。資格証明の提出期限は、2013年6月下旬でした。土木工事のための第四のパッケージの詳細は、現在協議中です。2013年6月時点で、以下の3コンソーシアムが発注先候補として有力視されています。

エンジニアリングおよびコンサルタント会社W S Atkins（米）とCH2M HILL（米）のコンソーシアム、カタールのEC Harris、Serco（英）とNetwork Rail Consulting（英）のコンソーシアム、Parsons Brinckerhoff（米）。

3路線の工事請負契約への入札は近々募集が始まる見込みです。